

# 【資料3】 デジタル化推進チームでの 検討事項について

---

デジタル化推進本部事務局  
(総務部 情報戦略課)

## テーマ

## 検討事項 ※詳細な各課役割分担は次ページ参照

### 働き方改革

#### ★ペーパーレスの推進(主担当：行政改革推進課)

- ・庁内会議・打合せ・各業務におけるペーパーレスの徹底に向けた方針の提示
- ・ただ、ここで各課から挙げられる課題として、電子データの保存のあり方や会議室のモニター不足、庁内LANのアクセス環境などが想定される。これら課題への対応策も含めた整理を想定

#### ★フリーアドレスの推進(主担当：情報戦略課・行政改革推進課)

- ・会議室不足の解消や新たな働き方に向けたフリーアドレスの実証報告や今後の方向性など考え方の整理を想定

#### ★オンライン会議・予約システム(主担当：情報戦略課)

- ・Zoomを活用した相談や受付など「行かない窓口」の実現に向けた検証・実施などの推進を図るための具体的なイメージなどの整理を想定。
- ・この際、オンライン予約システムの実証と連携した取組として検証・整理

### DX人材

#### ★DX人材育成・研修の体系化(人事課・情報戦略課)

- ・今後DXを進めていく際にどのような考え方で人材育成・研修を行っていくかを体系的に整理することを想定。本部員意見交換会・推進員研修会など現在実施している研修等のあり方なども含めて整理することを想定

### 将来投資

#### ★デジ田等・規制改革(主担当：情報戦略課・未来都市推進課・企画課)

- ・デジ田(Type2・3)など国庫補助等を活用した事業にスムーズに申請できるように将来像や規制改革も含め、取組内容やその方向性を整理することを想定

テーマ	フラッグシッププロジェクト	担当課
働き方改革	★ペーパーレスの推進	◎行政改革推進課 ○情報戦略課 ○情報システム課 ○人事課
	★フリーアドレスの推進	◎情報戦略課・行政改革推進課 ○情報システム課 ○人事課
	★オンライン会議・予約システム	◎情報戦略課 ○情報システム課
DX人材	★DX人材育成・研修の体系化	◎人事課・情報戦略課 ○情報システム課
将来投資	★デジ田・スマート/スーパーシティ・規制改革	◎情報戦略課・未来都市推進課・企画課 ○情報システム課 ○行政改革推進課 ○財政課

※◎主担当、○副担当

### ★フラッグシッププロジェクト

### ◇通常プロジェクト

- ・各プロジェクトの素案・骨子共有



- ・DX予算方針、令和5・6年度取組(素案)提示
- ・導入計画書の進め方(案)の共有

第3回チーム会議：6月27日(仮)

- ・検討状況の共有



- ・検討状況の共有

第2回本部会議：6月28日

- ・各プロジェクトの中間整理(案)の共有



- ・DX予算方針、令和5・6年度取組(案)提示
- ・導入計画書最終案の共有

第4回チーム会議：7月上旬

- ・各プロジェクトの中間整理(案)の報告・協議



- ・DX予算方針、令和5・6年度取組(案)
- ・導入計画書最終案
- ⇒これらの報告・協議

第3回本部会議：7月中旬

### 全庁へ通知(7月：第3回本部会議後)

- ・フラッグシッププロジェクトの考え方の明示



### 全庁へ通知(7月：第3回本部会議後)

- ・令和5年度DX予算方針・導入計画書

- ・各プロジェクトの具体策等の検討・整理



- ・令和5・6年度取組(案)の整理等

第5回以降のチーム会議(7月～10月頃)

※ 9月の全庁通知の時期に捉われず、令和5年度予算に関わる内容などは、随時、対応する。

### 全庁へ通知(9月中)

- ・とりまとめ内容の明示



### 全庁へ通知(9月中)

- ・令和5・6年度の取組方針

◆これ以降、取組の具体化に向けて検討を進めていく

<b>テーマ・プロジェクト</b>	テーマ：働き方改革 / プロジェクト名：ペーパーレスの推進																	
<b>背景・めざすべき状態</b>	<p>(1)背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX化による効率化のためには、ペーパーレス化を推進し、「いかに紙を使わずに仕事するか」が重要となる。</li> </ul> <p>(2)めざすべき状態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が無線化されたノートPCを使用し、通常業務は当然のこと、打合せ・会議・研修なども紙を使わずに、PCさえあれば庁舎内でどこでも仕事ができる状態。</li> </ul>																	
<b>現状と課題</b>	<p>(1)現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用PCが有線接続されている。 ・デスクトップPCが多く残っている。</li> <li>・複合機が潤沢にあることによって、紙を打ち出しやすい環境となっている</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用PC無線化のための環境を整える必要がある。</li> </ul>																	
<b>今後の方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室、打合せ場所の現地調査（アクセスポイント（AP）設置、モニター導入のため）</li> <li>・アクセスポイント（AP）、モニター設置に向けた予算要求</li> <li>・デスクトップPC→ノートPCへの切り替え、小型化（更新時）</li> <li>・複合機の配置数の縮小(例：1フロアに複合機：1台)</li> </ul>																	
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇取組1：業務用PC無線化のためのアクセスポイント（AP）設置、打合せ用モニターの設置</li> <li>◇取組2：デスクトップPCの廃止及び複合機の段階的縮小、共通物品各課保有の廃止</li> <li>◇取組3：ノートPCの小型化・バッテリー長時間化</li> </ul>																	
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 1069 1075 1141">令和4年度</th> <th data-bbox="1075 1069 1612 1141">令和5年度</th> <th data-bbox="1612 1069 2170 1141">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 1141 1075 1212">庁舎現地確認・AP予算要求</td> <td data-bbox="1075 1141 1612 1212">AP・モニターの設置</td> <td data-bbox="1612 1141 2170 1212"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1212 1075 1284"></td> <td colspan="2" data-bbox="1075 1212 2170 1284">デスクトップPCの廃止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1284 1075 1356"></td> <td colspan="2" data-bbox="1075 1284 2170 1356">ノートPCの小型化</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="504 1356 1075 1404">複合機の縮小に向けた検討・実施</td> <td data-bbox="1075 1356 2170 1404">共通物品のあり方見直し・実施</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年度	令和5年度	令和6年度	庁舎現地確認・AP予算要求	AP・モニターの設置			デスクトップPCの廃止			ノートPCの小型化		複合機の縮小に向けた検討・実施		共通物品のあり方見直し・実施
令和4年度	令和5年度	令和6年度																
庁舎現地確認・AP予算要求	AP・モニターの設置																	
	デスクトップPCの廃止																	
	ノートPCの小型化																	
複合機の縮小に向けた検討・実施		共通物品のあり方見直し・実施																
<b>協力・参画 いただきたい所属</b>	情報システム課（アクセスポイント（AP）設置管理、PC更新） 財産管理課（会議室内モニター・プロジェクター設置後の管理） 庶務課(複合機の縮小) / 契約課(共通物品について)																	

<b>テーマ・プロジェクト</b>	テーマ：働き方改革 / プロジェクト名：フリーアドレス推進による生産性・魅力向上								
<b>背景・めざすべき状態</b>	<p><b>(1)背景</b></p> <p>○テレワーク、ペーパーレスを進めれば、事務室や書庫等のスペースに余剰が生まれるが、以前と変わらず固定席、固定書棚となっている。DXの見せる化として、DX後の働く環境を象徴する職場環境を見せていくことで、DXを加速化させる必要がある。</p> <p><b>(2)めざすべき状態</b></p> <p>○民間の事例も参考にしながら、ペーパーレスの推進、4S(整理・整頓・清潔・清掃)の推進と合わせて、庁舎内で柔軟な働き方ができるよう、これまでの行政の業務スタイルの変革につなげる全庁的なフリーアドレス化を推進する。市役所の新たな働きを確立し、職場環境の変革による生産性向上、執務・会議スペースの活用方法の転換・最適化、職員や新規採用者への魅力向上を目指す。</p>								
<b>現状と課題</b>	<p><b>(1)現状</b></p> <p>○一人1デスクという状況、かつ、紙資料なども膨大にあるため、什器等が執務スペースの多くを占めている状況。</p> <p><b>(2)課題</b></p> <p>○現状、従来の職場環境・働き方を踏襲していることから、生産性の向上が見込めず、かつ、職場の魅力が低下。また、慢性的な会議室不足であったり、障がいのある職員が決して快適・安全に勤務できる環境ではない。</p>								
<b>今後の方針</b>	<p>◆建築予防保全課の実証や情報戦略課・行政改革推進課で検討している実証などを踏まえ、一定程度規模の拡大に向けて、庁内におけるフリーアドレス推進に向けた方針や具体的な対応策を整理する。</p>								
<b>具体的な取組</b>	<p>◇取組1：フリーアドレスの実証及び段階的実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアドレスの実証を行い、現状及び課題であるような状態の改善につながるかの検証を行いながら、全庁における段階的な実装を進めていく。</li> </ul> <p>◇取組2：全庁的なフリーアドレス化の方針策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証・段階的実装を踏まえながら、全庁におけるフリーアドレス化の方針を取りまとめる。</li> </ul>								
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     建築予防保全課での実証                      情戦課等での実証                      フリーアドレス化方針整理・策定                 </td> </tr> </tbody> </table>	令和4年度	建築予防保全課での実証 情戦課等での実証 フリーアドレス化方針整理・策定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     都市整備部内での実装化                      総務部内での実装化                      フリーアドレスの庁内展開(徐々に展開を想定)                 </td> </tr> </tbody> </table>	令和5年度	都市整備部内での実装化 総務部内での実装化 フリーアドレスの庁内展開(徐々に展開を想定)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     ペーパーレスの推進のスケジュールと合わせて整理                 </td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	ペーパーレスの推進のスケジュールと合わせて整理
令和4年度									
建築予防保全課での実証 情戦課等での実証 フリーアドレス化方針整理・策定									
令和5年度									
都市整備部内での実装化 総務部内での実装化 フリーアドレスの庁内展開(徐々に展開を想定)									
令和6年度									
ペーパーレスの推進のスケジュールと合わせて整理									
<b>協力・参画 いただきたい所属</b>	<p>○財産管理課 ○人事課・法務課・庶務課（総務部南エリア） ○建築予防保全課 ○障がいのある職員</p>								

<b>テーマ・プロジェクト</b>	テーマ：働き方改革 / プロジェクト名：オンライン会議・予約システムの活用											
<b>背景・めざすべき状態</b>	<p><b>(1)背景</b>                  ○コロナ禍等を契機に働き方・ライフスタイルが多様化している。行政もこれらニーズに合わせたサービス提供が求められる。オンライン会議などを活用した相談、予約システムを活用した三密回避などもその一つである。</p> <p><b>(2)めざすべき状態</b>                  ○庁内で既存で活用できるツールなどを活用するだけでも、新たなニーズに対応することは十分に可能である。やれることは直ぐに実行していく状態を目指していく。</p>											
<b>現状と課題</b>	<p><b>(1)現状</b>                  ○Zoomを活用したオンライン会議は既に多くの所属で実施されているが、それを相談・受付などまで発展させた活用には至っていない。</p> <p><b>(2)課題</b>                  ○Zoomの利用方法を工夫するだけで、市民サービスの向上につながる可能性があるにも関わらず、実践できていない状況</p>											
<b>今後の方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆Zoomを活用した相談や受付など「行かない窓口」の実現に向けた検証・実証などの推進を図るための具体的な活用方法を庁内に提示。</li> <li>◆これと並行して、オンライン予約システムの活用などの実証も行い、予約システムの活用方法を整理する。</li> </ul>											
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇取組1：Zoomを活用した相談・受付など「行かない」窓口の具体的なイメージの整理・展開                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomを活用した相談や受付など「行かない窓口」の実現に向けた検証・実証などを関係課の協力を得ながら実施し、活用方法をとりまとめ庁内へ提示。</li> </ul> </li> <li>◇取組2：オンライン予約システムの活用                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち電子申請・届出システム、民間サービス等の予約システムの活用実証等を行い、オンライン予約システムの活用・導入等の考え方について整理する。</li> </ul> </li> </ul>											
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Zoomの新たな活用検証 活用方法とりまとめ 全庁展開</td> </tr> <tr> <td>オンライン予約実証・整理</td> </tr> </tbody> </table>	令和4年度	Zoomの新たな活用検証 活用方法とりまとめ 全庁展開	オンライン予約実証・整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Zoomの活用範囲の拡充</td> </tr> <tr> <td>オンライン予約の導入・活用</td> </tr> </tbody> </table>	令和5年度	Zoomの活用範囲の拡充	オンライン予約の導入・活用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度		
令和4年度												
Zoomの新たな活用検証 活用方法とりまとめ 全庁展開												
オンライン予約実証・整理												
令和5年度												
Zoomの活用範囲の拡充												
オンライン予約の導入・活用												
令和6年度												
<b>協力・参画 いただきたい所属</b>	○産業部 ○福祉部 等											

<b>テーマ・プロジェクト</b>	テーマ：DX人材 / プロジェクト名：DX人材育成・研修の体系化		
<b>背景・めざすべき状態</b>	<p><b>(1)背景</b>                  ○DXは、自治体において今や必ず取り組まなければならない取組である一方で、それを実行できる人材、牽引できる人材が不足している状況で、全体的な底上げと高度人材の両方が必要。DXは一過性ではなく、人材育成により、今後も継続して組織・業務をDXしていける体制を整える必要。</p> <p><b>(2)めざすべき状態</b>                  ○それぞれの分野でデジタル化強靱化に向けた取り組みを実現するための人材（DX人材）が揃っており、経営職、管理職が目指すビジョンや方向性を具体的に示すことができ、そのビジョンや方向性の下、DX人材が能力を発揮し、両輪でDXを推進。</p>		
<b>現状と課題</b>	<p><b>(1)現状</b>                  ○DXは詳しい職員が担当・実施するものという状況。また、通常業務にDXが浸透している状況とは言い難く、本来DXの優先順位が高いにもかかわらず、オプション感（やってもやらなくても）が強い。</p> <p><b>(2)課題</b>                  ○現状を打破していくような研修などを体系的に実施できておらず、単発的な取組となっている。</p>		
<b>今後の方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆まずは、本市としてDX人材として何を求めるのか、どのような人材育成を目指していくのか（目的）を全庁で共通認識を持つ必要がある。</li> <li>◆その共通認識のもと、役職や職種などそれぞれの立場・状況において必要な知識・技術・認識等を明確にし、これらを身に付けるための研修等のあり方を体系化する。</li> <li>◆また、研修については業務で活用できる内容としていくこととしていく。</li> </ul>		
<b>具体的な取組</b>	<p>◇取組1：(仮)DX人材育成方針を策定                  ・本市としてDXを推進するにあたりどのような人材を獲得、育成していくかの目指す姿を整理するとともに、それに必要な研修などを体系的に整理し、とりまとめる。</p> <p>◇取組2：(仮)DX人材育成方針に基づいた研修の実施                  ・上記方針の策定と並行して研修会等を実施していく。その際、外部人材も有効活用する。</p>		
<b>スケジュール</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和6年度</b>
<b>協力・参画 いただきたい所属</b>	※所属として検討メンバー以外には特段無し。ただし、一部の職員にヒアリングなどを行う可能性あり。		

#### テーマ・プロジェクト

テーマ：将来投資 / プロジェクト名：データ利活用・データ連携基盤の推進による地域課題解決

#### 背景・めざすべき状態

##### (1)背景

○デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日閣議決定）においては、データ連携基盤などのデジタルを活用して、地域の抱える様々な課題を高度に解決することにより、新たな価値を創出し、持続可能な地域づくり、まちづくりを目指すことが地域ビジョンの例とされている。本市でもオープンデータガイドラインを改訂し、データの拡充に取り組んでいるところであり、今後はこれらのデータ活用のあり方、データを起点とした官民連携について検討する必要がある

##### (2)めざすべき状態

○市内でのデータ連携が当たり前の状態となり、更に市内データを民間企業が利活用することで、官民が連携して市民サービスを提供できる環境を構築し、地域課題解決に繋げている。  
○さらに、民間企業のデータも一つの基盤で連携できる環境の構築を目指す。

#### 現状と課題

##### (1)現状

○そもそも、各課保有のオープン化できるデータがオープン化されていない状態。また、市内相互でのデータ利活用もイチイチ申請をしなければ活用できない状態。

##### (2)課題

○データ連携ができていないがゆえに、データに基づいた分析・施策検討などにおいて定量的な判断が的確かつ効率的に実施することができていない。また、民間企業が公共データを活用したサービスを実施しようにもデータを活用することができておらず、地域課題解決に結びついていない。

#### 今後の方針

- ◆オープンデータガイドラインに基づいたデータの質と量の向上及び市内での円滑な利活用促進
- ◆官民連携促進のためのデータ連携基盤のあり方方針の策定

#### 具体的な取組

- ◇取組1：オープンデータの拡充
  - ・オープンデータガイドライン(改)に基づいたデータの質と量の向上
- ◇取組2：データ連携基盤方針の策定
  - ・デジ田等を見据え、官民連携を促進するためのデータ連携基盤のあり方を取りまとめる。

#### スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度
オープンデータの拡充		
データ連携基盤のあり方方針策定		
	データ連携基盤の実証等	(※国の実証等の活用も想定)

#### 協力・参画 いただきたい所属

○福祉部 ○保健部 ○子ども部 ※地域課題解決に必要なデータを所有している部局を随時追加